

月刊 ふし

10月号

【特集】

美術 「中 3 藤女子連続模様」

美術 「高 1 デッサン」

【連載】

家庭科 「ホームプロジェクト」

《今月の表紙》

「連なる」

型染め

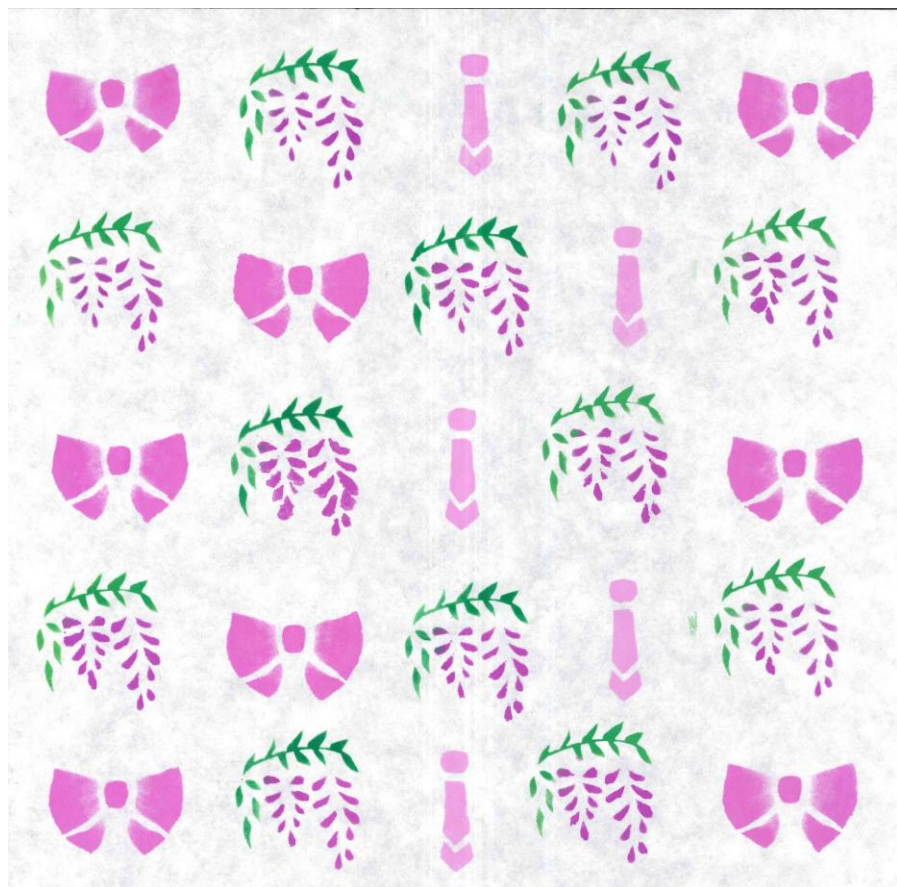
中 3 T さんの作品

「藤女子連続模様」

中学3年生の作品です。型染めの技法を用いて、連続していくオリジナルの模様をデザインしました。

“藤女子の包装紙”をテーマに生徒たちが選んだモチーフは様々。制服や上靴などの自分たちなグッズや、キリスト教にちなんだもの、生物室の生き物、校地内の季節の草花や近所のカラスまで!?

連続した絵柄が作るリズムをお楽しみください。前号に続きご紹介します。



「藤」
M さんの作品



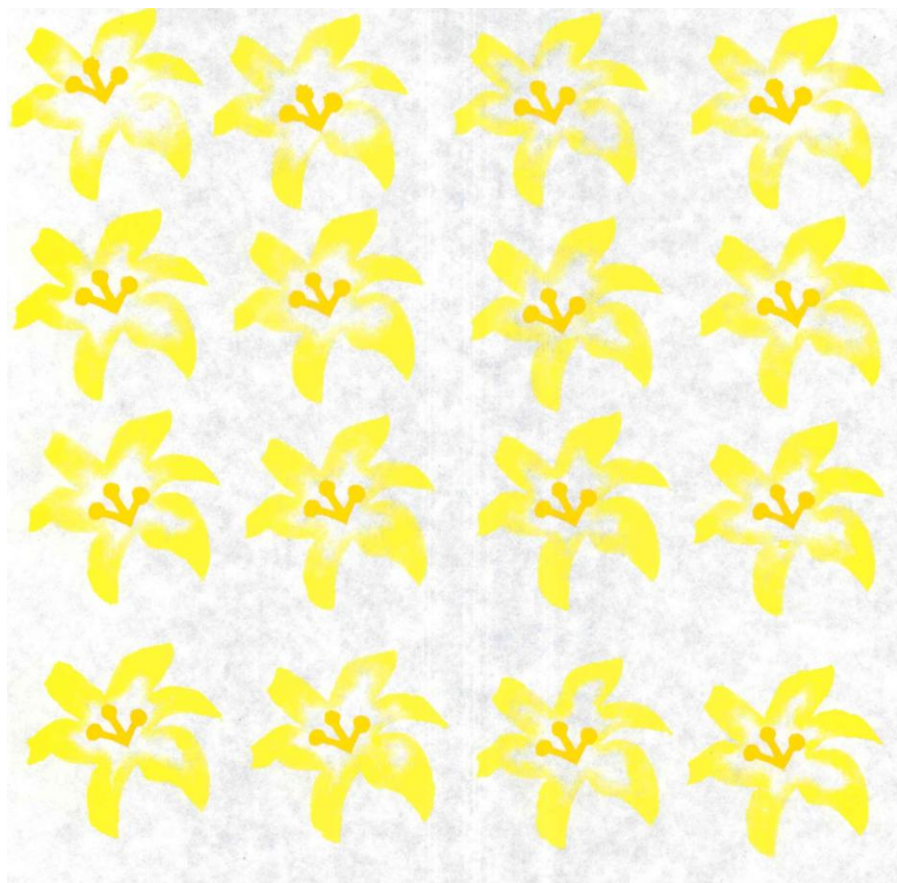
「リボンとネクタイ」

うさんの作品

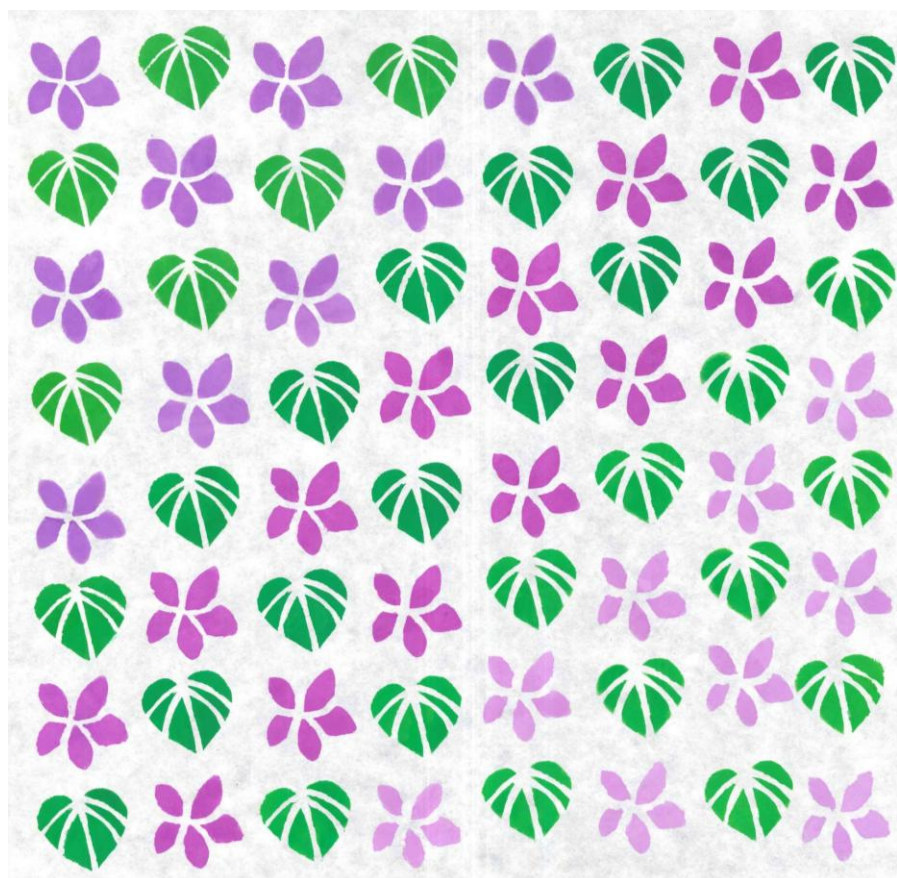


「かめと藤子ちゃん」

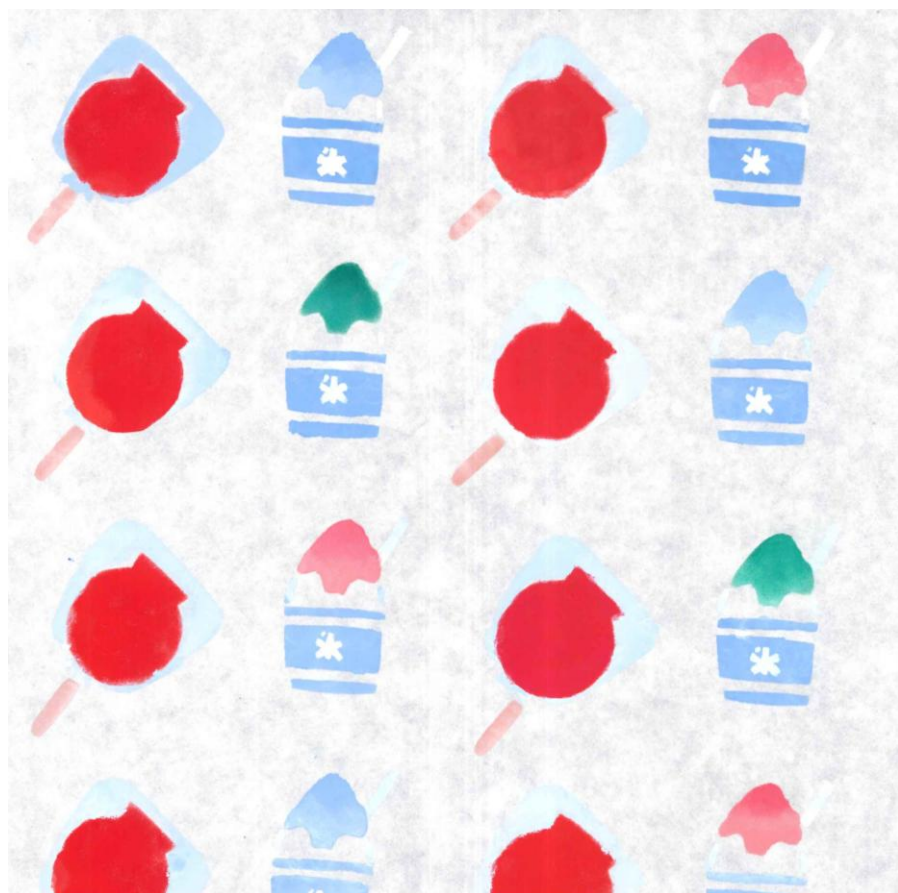
D さんの作品



「ユリ」
Mさんの作品



「すみれ」
Tさんの作品



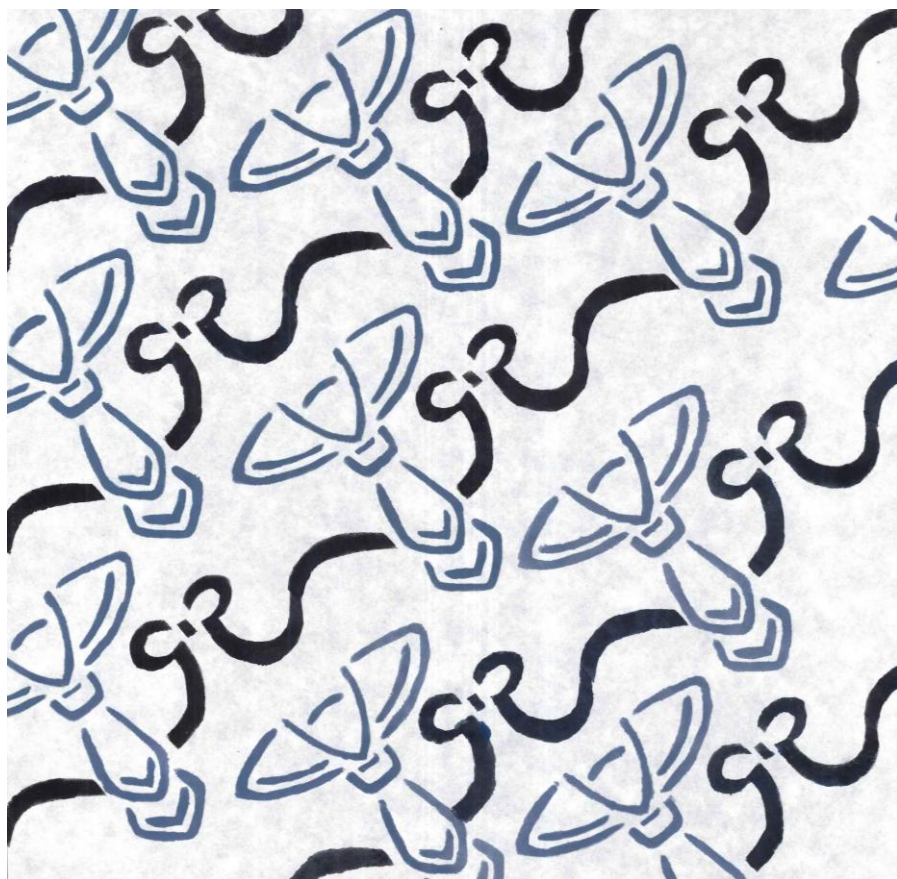
「学祭」
Yさんの作品



「トランペット」
Kさんの作品

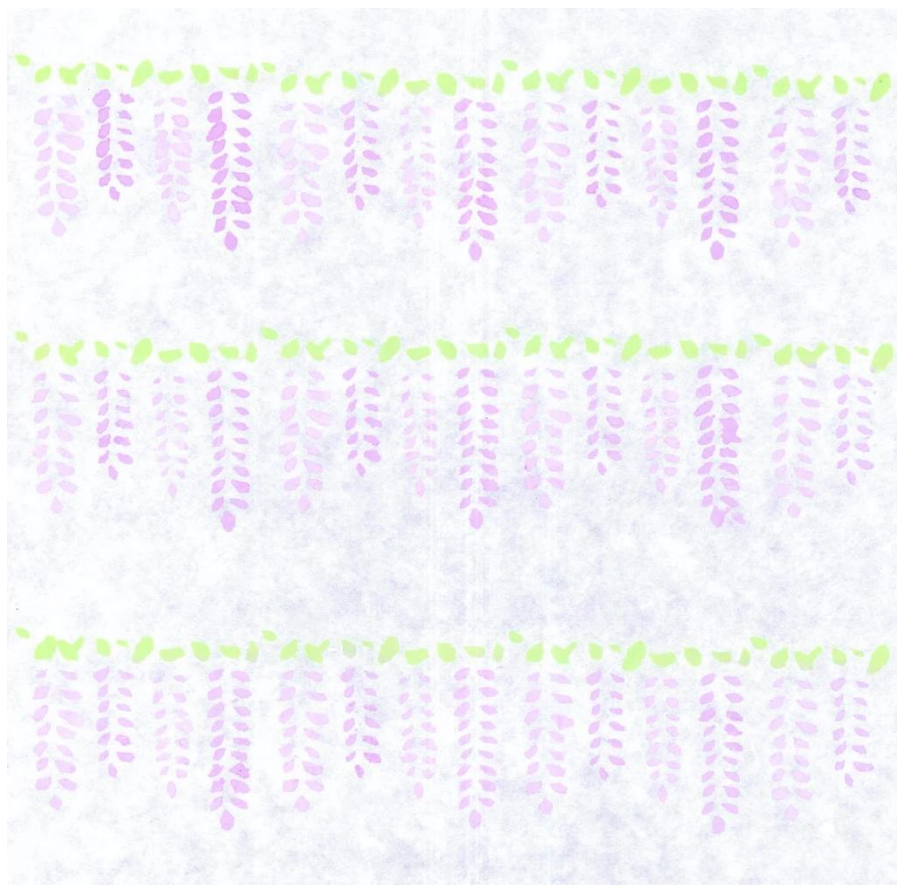


「シューズ」
Iさんの作品



「Fuji Girls uniform」

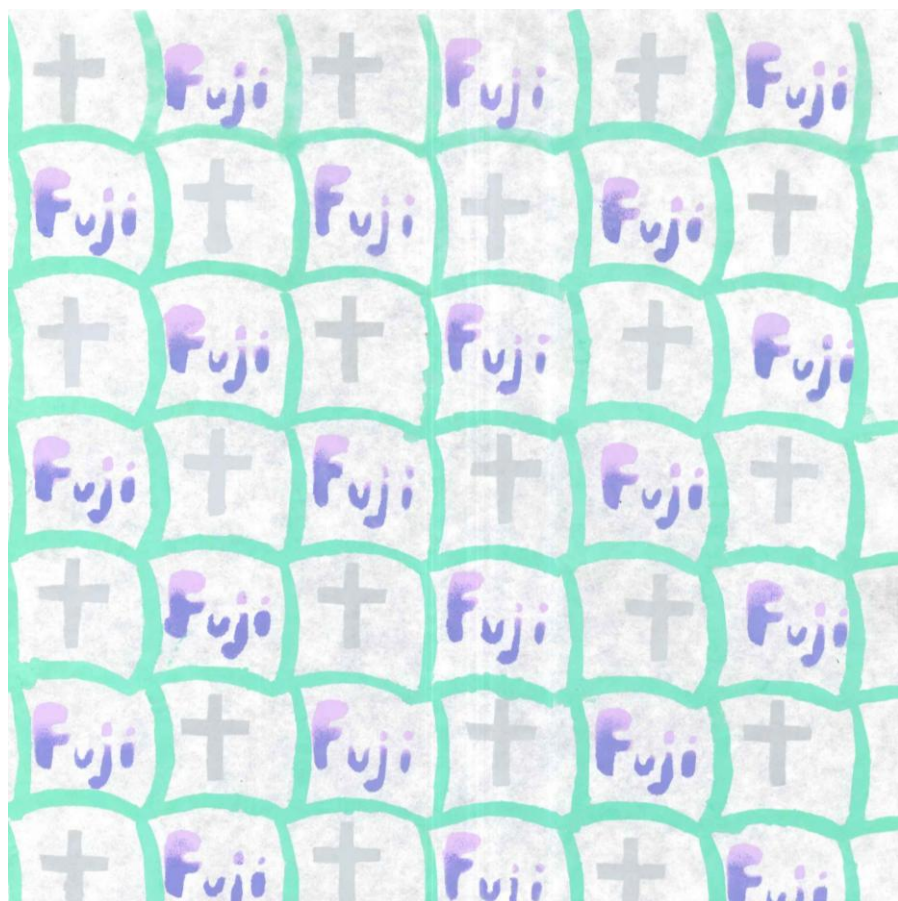
S さんの作品



「藤」
Iさんの作品



「連なる」
Tさんの作品



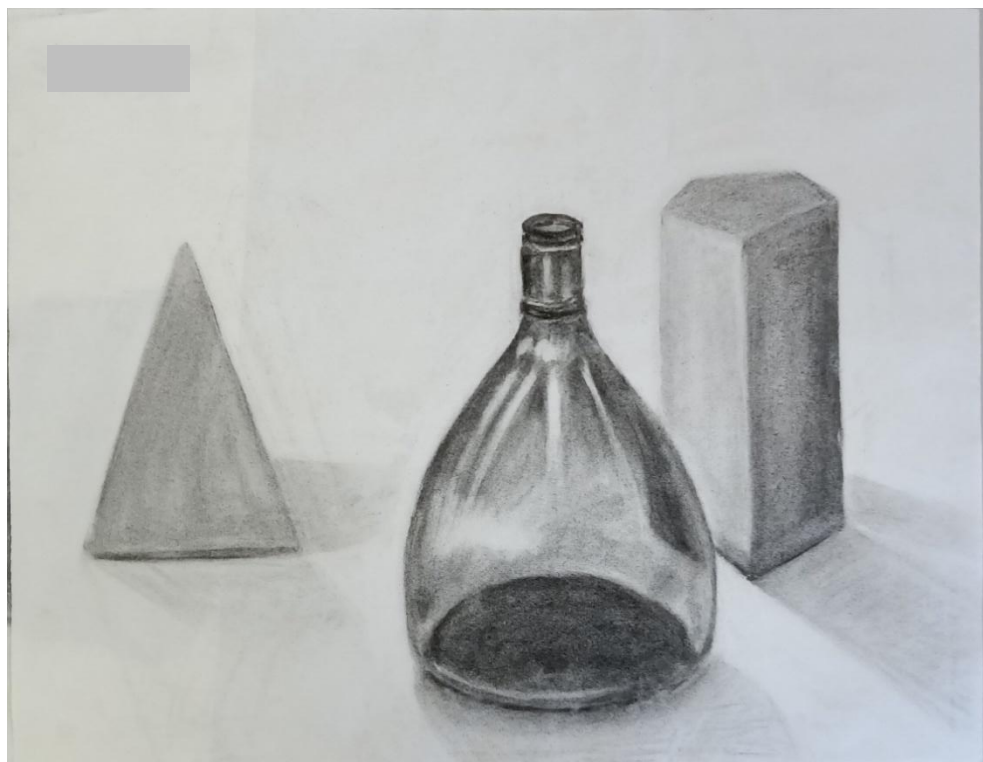
「藤女子といえば」

Nさんの作品

「デッサン」

高校1年生の作品です。本格的な美術の授業のはじめとして木炭デッサンに挑戦しました。中学の頃と比べて紙の大きさも2倍以上の大きなものです。

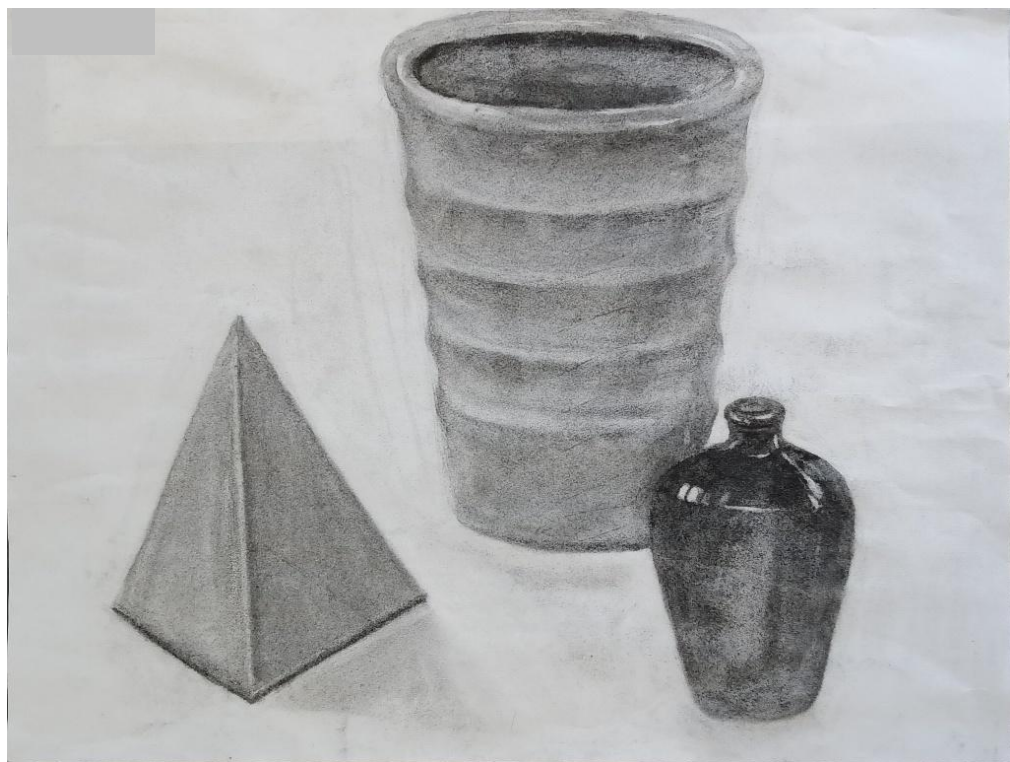
コツコツ描き足していく鉛筆とは違い、粉をつけたり取ったりを繰り返しながら調整することに、戸惑いつつ進めました。指、布、練り消しなどの道具も駆使して描きました。



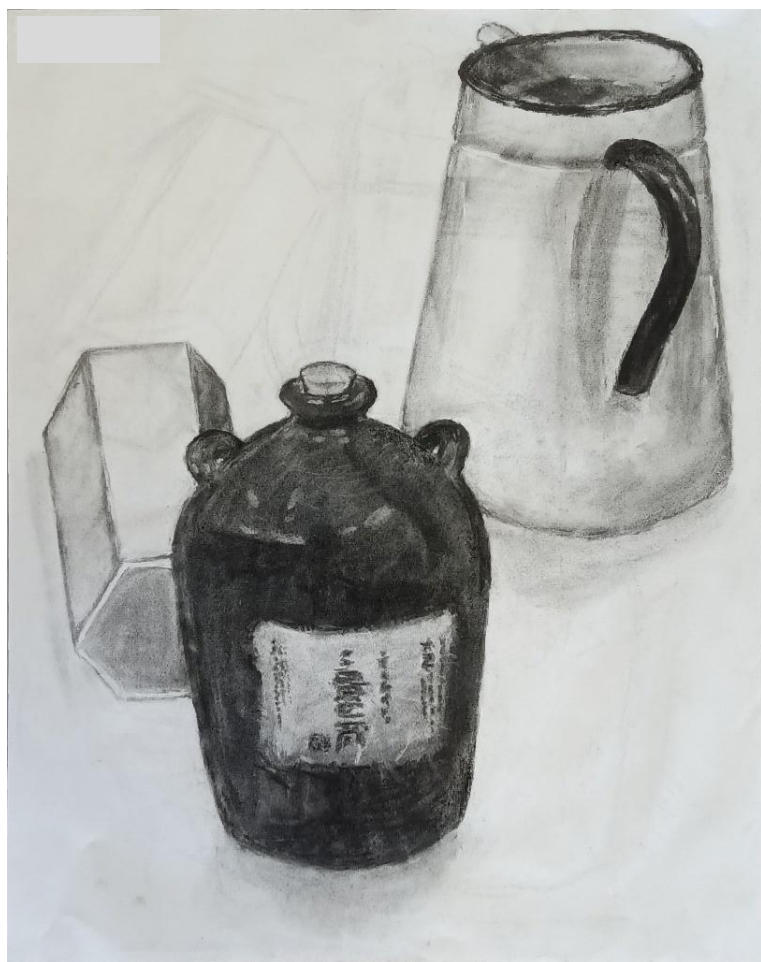
S さんの作品



Iさんの作品



Kさんの作品



Tさんの作品



Yさんの作品



K さんの作品

「ホームプロジェクト」

高校1年生のレポートです。

家庭科の名物課題“ホームプロジェクト”。生活の中で改善すべきポイントを見つけ、実践を通してその成果を分析します。

今月のテーマは“お弁当のメニュー”です。料理は好きではないという生徒が継続してお弁当を作ってみて感じたこととは…？

お弁当のメニュー を考えよう！

高1 Tさんのレポート

目次

1. テーマ設定の理由
2. 実態調査の方法
3. 実態調査の記録
4. 実態調査から見えた問題点
5. 改善案
6. 実践記録
7. 反省・評価・考察

1. テーマ設定の理由

テーマ：お弁当のメニューを考えよう！

理由：私自身、料理があまり好きじゃない、ということや、今まで給食だったこともあり、お弁当を作ったことがなかったから。私は学生、姉は社会人、両親とも働いているため、やらせっぱなしはダメだと感じたから。また、卵焼き以外の副菜関係の味付けや作り方を知り、“自分で”誰にも聞かず、作れるものを増やしたいと思ったから。

お弁当と言ったら色どりというのも大切になってくるため、見た目も少し手を入れることができればいいなと思うし、料理をするということが苦に感じないようにしたい！！

2. 実態調査の方法

①方法と手順

現在（４月）のお弁当の作る工程を調査する

- ・お弁当をカメラで撮る
- ・自分は何をしたかをメモする

使用する道具

- ・カメラ
- ・メモ帳
- ・キッチン道具

②日程

４月 22 日～30 日（平日）

3. 実態調査の記録

期間：4月22日～30日（平日）

家族構成：父 母 姉 私

- ・メニューを決める人：母
- ・買い物：母（母が買ったり、誰かが代わりに）
- ・作る人：母と姉
- ・自分がやっていたこと：作り終わったものをお弁当につめる
- ・父がお弁当箱を洗っている

4. 実態調査から見た問題点

- ・メニューを母だけで考えていた
- ・母が仕事で朝いないときは母と姉だけでメニューを引き継いでいた
- ・自分はメニューを把握していない
- ・少し節約したい
- ・いつ、どのおかずのお弁当にするのかという予定を自分で立てていない
- ・作る作業は自分はしていない
- ・冷蔵庫の中身を把握していない
- ・作る時間が限られている

5. 改善案

①方法と手順

◎日曜日に次の日からの週のお弁当メニューを自分と母と姉で一緒に考え1週間分をメモに残す。その後材料を書き出し、買い物に行く

- ⇒ ・冷蔵庫の中身把握につながる
- ・自分も一緒に参加することが大切！！
 - ・週のお弁当の予定をみんなで共有することで把握ができるメニューをレパートリーに入れることができる

◎日曜日に月曜日分のお弁当のおかずを作り置きする。火曜日からのおかずは前日の日に材料を切ったり作ったりする

- ⇒ ・材料などを切っておくだけでも次の日の朝、時間に余裕がもてる
- ・母がいなくてもできる

◎卵焼き→味玉に変更

- ⇒ ・卵を使う数が減り節約できる！
- ・卵焼きは朝やらなくてはいけなくて、時間がかか

るが味玉は一気に 2,3 日分作れて効率が良い

②日程

5 月 7 日～夏休み前まで

6. 実践記録

①実践を始めた頃

- ・お弁当をつめるのに時間がかかった
- ・お弁当にまだ少し隙間があった
- ・土日ですっかり週の予定を立てることを欠かさずに行った

②慣れてきた頃

- ・買い物に行く回数を重ねるうちに何が安いのがわかってきた
- ・調味料が結構必要なおかずは前日に作っておき塩コショウだけでいいというのは前日に自分が材料を切り、当日に姉または母が作るという分担をすることができた

③後半

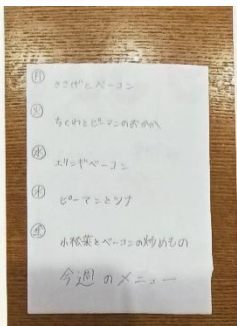
- ・つめるのにかかる時間はとても短くなった
- ・おかずのバリエーションも増えたので買い物に行って値段をみてその場で決めるということができるようになった

- ・ 週の中で同じおかず、同じ食材をできるだけ使わないよう工夫することできるようになった

○週の流れの例○

< 日曜日 >

- ・ その週のお弁当の予定を書き出す
- ・ 買い物に行く
- ・ 味玉を作る
- ・ ささげとベーコンのおかずを作っておく



<月曜日>

・お弁当をつめる

① 姉がここまで準備してくれた!!



② 自分でつめる



③ 完成!!



◎自分が調べてつくったおかず

○小松菜とツナの中華サラダ

<材料>

- | | | |
|-------|-----|------|
| ・小松菜 | ・醤油 | ・酢 |
| ・にんじん | ・砂糖 | ・ごま油 |
| ・ツナ缶 | | |



○甘辛ちくわピーマン

<材料>

- | | | |
|-------|-----|------|
| ・ピーマン | ・醤油 | ・酒 |
| ・にんじん | ・砂糖 | ・ごま油 |
| ・ちくわ | | |



○ちくわとピーマンのおかか炒め

<材料>

- ・ピーマン
- ・ちくわ
- ・醤油
- ・かつお節
- ・酒
- ・みりん



その他にもたくさんのお弁当を作りました!!



7. 反省・評価・考察

①自己評価・反省

今回の取り組みは5月～7月まで休むことなく毎日お弁当作りを続けることができた。そして朝の動きも定着していきスムーズに行うことができるようになり、お弁当をつめる時間もあまり時間がかからなくなった。またお弁当を作るということをし始めると同時に冷蔵庫の中身、スーパーで買うものというのも自ら確認することができるなど、確実に一人でできることが増えたと思う。

何よりもお弁当をつめるのが楽しいと感じ、料理をすることも前に比べてあまり苦に感じなくなった。

②家族の評価・反省

略

③今回の取り組みへの考察

今回のこの家庭科の取り組みでお弁当に着目し改善していったことで、お弁当を作ることを家族みんなが負担なく行えるようになったと感じた。計画に沿ってお弁当のメニューを決めて、作っていくことを毎週行うことで、だんだん慣れていき、自分なりの工夫をすることもできるようになった。例えば、お弁当にほんの少しの隙間があれば、枝豆や黒豆を入れることや、何度か同じメニューを作る中で好みの味付けにするために分量を変えるなど、初めは出来なかったことが出来るようになっていった。これらの工夫は実際に経験し、継続しなければ生まれないものだと感じる。お弁当のメニューを考えるという今回のテーマは、自分なりには達成できたと考える。

今回の取り組みを通してのさらなる学びの一つとして、しっかりと計画を立て、みんなで共有することの大切さを学んだ。特に「家事」はやることがたくさんあるため、一人ではなくみんなで行うために、共有し、協力していくことが重要だと感じた。家族と共に役割分担をし、それぞれが役割をこなし

ていく中で、役割がこの人に偏っていないかも考える事ができた。例えば、母や姉が洗い物をしているときに、自分でできることがないかを考えて、洗濯物をたたむことがあった。「これやってくれたから、わたしこれやるよ」などといったお礼の行動で偏りを調整する力も身についた。この調整する力により、洗濯物、洗い物などの家事全般を自らする力も身についたと思う。

最後に、計画、実行、共有の3点を巡回することは、取り組みを継続するための基盤になると感じた。さらに、実践すること自体が、考えの幅を広げたり、効率性を高める鍵だと考える。今後に生かしていきたい。